


# 「業務効率化の取組に関するアンケート」の結果報告

現状把握と意識調査





## 「目的」

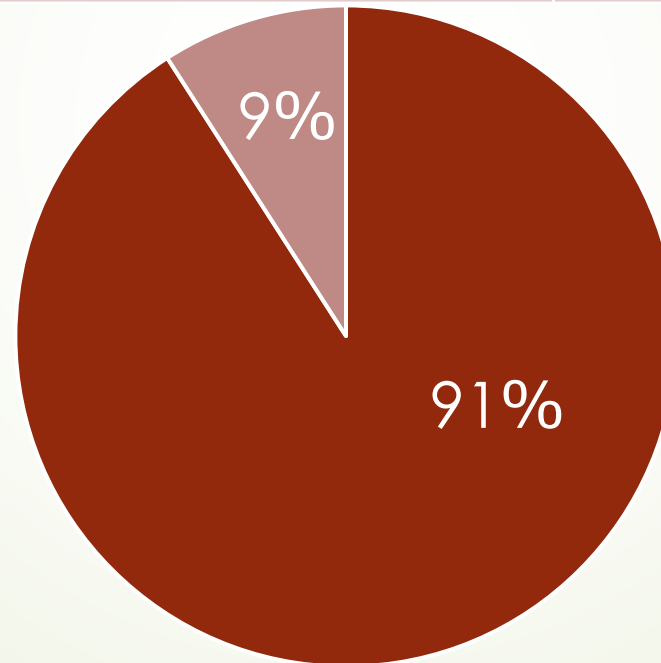
建設業で2024年から適用される  
「時間外労働時間の上限規制」を踏まえ

「業務効率化についての各社の取組」  
に関する現状把握と意識調査

# アンケート対象

## 東北空調衛生工事業協会正会員 55社

回答企業数	50社
未回答企業数	5社



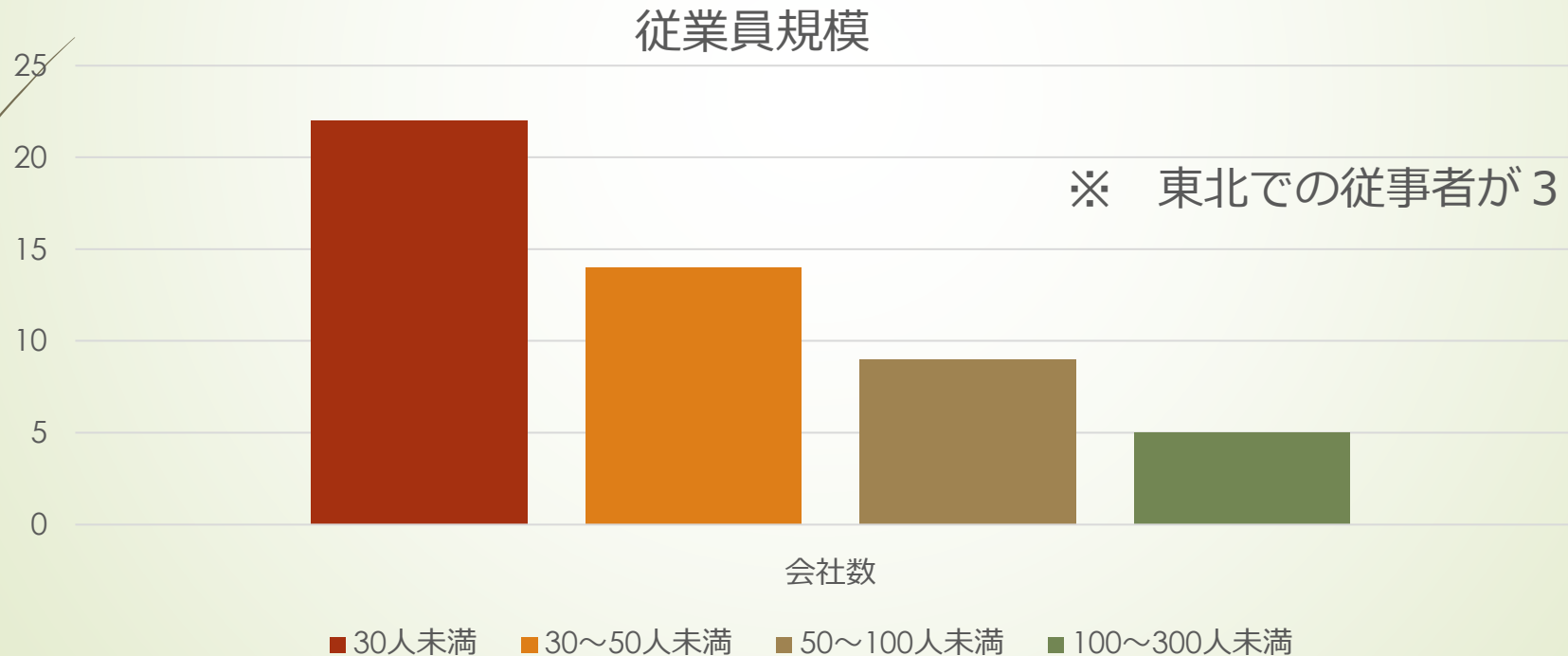
※ 正会員の91%の回答

■ 回答企業 ■ 未回答企業

# 問1：従業員規模

東北地区及び東北支店管内が対象 回答企業50社

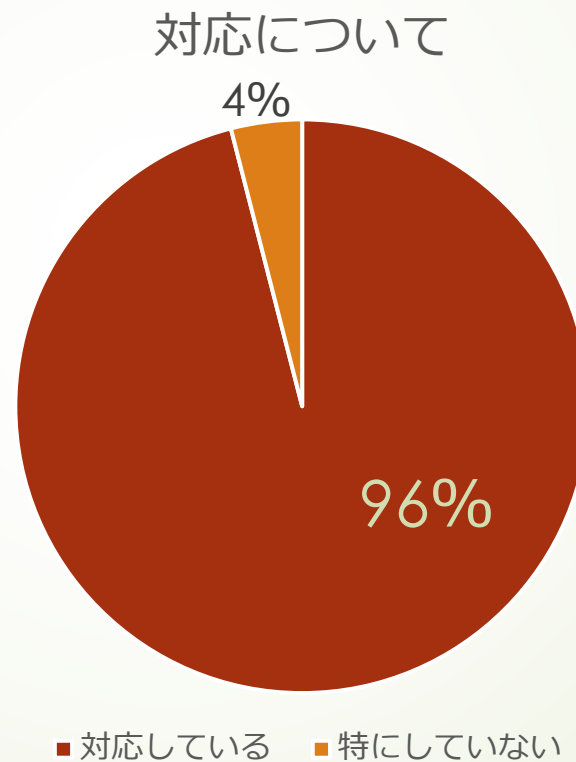
1	2	3	4
30人未満	30～50人未満	50～100人未満	100～300人未満
22社	14社	9社	5社



## 問2：業務効率化についての対応

回答企業50社

対応している	特に対応していない
48社	2社



※ 回答企業の96%が対応あり

# 問3：対応策について

回答企業48社

※ 種々のソフトの導入が多い

項目	1 現場管理ソフトの導入	2 タブレット・スマホ等の利用	3 会計ソフト導入	4 勤怠管理ソフトの導入	5 現場監視カメラの導入	6 WEB会議用ソフトの導入	7 BIMの導入	8 フロントローディングの採用	9 ドローンの利用	10 対応検討チームの立ち上げ	11 現場支援部署の立ち上げ	12 業務の外勢化・外部委託を充実	13 営業情報顧客管理用ソフトの導入	14 その他の対応策
会社数	25社	47社	17社	29社	5社	37社	20社	7社	2社	8社	17社	11社	13社	18社

# 問3：その他の対応策の意見

回答企業18社

- ・ノー残業ディの推進 15社 ※ 月2回、水曜日 実施と管理
- ・有給休暇取得の推進
- ・有給休暇取得報奨金
- ・節目休暇（外勤者）推進 ※ 現場完了後のリフレッシュ休暇？
- ・4週8休運動
- ・現場外工業化の推進
- ・DX、3Dスキャナー、ホロレンズの活用
- ・実行予算書、発注稟議書などの定型事務業務の  
バックオフィス化

※ バックオフィス化 内製化

# 問4：業務効率化を実施し出てきた効果・課題 良かった点（プラス要素）

回答企業48社

プラス要素	1 働き方改革が進んだ	2 業務プロセスの見直しができた	3 コスト削減	4 残業が減った	5 定型的業務の生産性が上がった	6 休日が増えた	7 若手社員の離職率が軽減	8 従業員の満足度がアップした	9 情報伝達のミスが減った	10 給料が上がった	11 施工データの一元管理ができた	12 受注が増えた	13 特になし	14 その他
会社数	27社	24社	7社	22社	19社	9社	1社	5社	8社	1社	14社	1社	2社	3社

※ 働き方改革が進んだ、業務プロセスの見直し、残業の削減、生産性が上がった等につながった



## 問4：業務効率化を実施し出てきた効果・課題

回答企業3社

### 問4. 良かった点（プラス要素） その他の意見内容

- ・ 情報の共有化
- ・ 発展途上であり大きな効果とは、言えない状況です
- ・ w e b 会議により旅費交通費の削減

# 問4：業務効率化を実施し出てきた効果・課題 課題（マイナス要素）

回答企業48社

マイナス要素	1 使いこなすのが難しい	2 建築・電気業者と同じソフトでない	3 PC等の機材の整備	4 ネットワークの整備	5 情報セキュリティ体制整備	6 取り入れるための経費・予算が必要	7 OP資料が他社と統一されていない	8 全員が使っていない	9 旧来のやり方に戻ってしまう	10 業務に優先順位をつけるのが難しい	11 アウトソーシングが上手くいかない	12 手間、コストがかえって増えた	13 特になし	14 その他
会社数	17社	13社	15社	12社	13社	29社	10社	26社	3社	3社	6社	5社	1社	2社

※ 課題は、広範囲に渡りいろいろな問題が潜んでいると思われる。特に経費、予算がかかる

## 問4：業務効率化を実施し出てきた効果・課題

回答企業2社

### 問4. 課題（マイナス要素）その他の意見内容

- ・ 紙での工事書類関係がまだある
- ・ 管理側の手間が増えた
- ・ 客先の指定で戻ってしまう

# 問5：対応していない理由

回答企業2社

理由	1 必要性を感じなかった	2 業務改善・効率化のプロセスが不明 で導入できなかった	3 必要だと感じたがコスト等の理由で 導入できなかった	4 その他
会社数	0社	1社	1社	1社

## 問5：対応していない理由

回答企業1社

### 問5. その他の意見内容

- ・ 人材が不足していて取り組むことができない

※ コストやプロセスの面、人材の問題で対応できなかったが必要性は、感じていると思われる

## 問6：今後の業務効率化の取組に付いての意見

1. 公共工事において上限規制を踏まえた現場工期となっていないので国交省等の主導で役所に対し改訂を促す必要があると思われる
2. 大した取組は、していませんが残業が減り休日が増えてます。今後共、更なる情報をお願いします
3. 会社単位では、実施しているが現場では、ゼネコンにも左右されるため、建設業全体での取組が必要と思います
4. 業界全体で4週8閉所を進めて行きたいので、引き続き各所への陳情適正工期の働きかけをお願いします
5. 施主側の理解や業界全体で取組まないと無意味である

## 問6：今後の業務効率化の取組に付いての意見

6. C a dソフトに関する情報を継続的に提供していただきたい  
( R e b r oにつき準備はしているがまだ一部の人しかできない)
7. 会社主導にてハード面の取組みが進捗しているものの各現場における効率的な運用には至っていない
8. 実務担当者の各取組みに対する作業効率、意識の向上及び管理職による指導が必要である
9. 内勤者については、働き方改革がある程度浸透していると感じますが、現場従事者については、なかなか改善していないのが実情です
10. 弊社では、更なる取組みを行ってまいります。現場完全週休二日制の導入など業界全体での取組みが重要と感じております

## 問6：今後の業務効率化の取組に付いての意見

11. 更なる業務効率化に向けて情報収集し有益なものを取入れる
12. 人財への投資（ICT化推進、社員育成等）
13. 今後は、施工図外注等も視野に入れていきます。また、現場支援部署も必要と思いますが、若手技術者のスキルが低下してくると思います  
また、現場管理コストは、上がります  
その世の中で、受注金額の低下とどう折り合いをつけていくかが大きな課題となります
14. 特にBIMによる現場管理支援システム（当社独自）を推進している
15. 現場支援業務の充実化、コンカレントエンジニアによる生産性向上
16. 今後もどんな形でも推進していく



## 問6：今後の業務効率化の取組に付いての意見

17. グループウェアソフトを活用し社内業務の効率化を検討中
18. 図面作成のアウトソーシング化
19. プロジェクトチームを立上げ、根本的な人事制度（転勤、社宅制度、若手社員の活性化等）の見直しに着手
20. 今後ソフトの開発が進み、作業効率が飛躍的に上がる前提で新しいツールを導入していますが現段階では、苦労が先行しております
21. 現場での時間外労働時間の削減の為には、建築を含めた業界全体での工程や工賃の見直しが必要
22. 業務効率化は、必要であるが、時間外労働時間の規制により技術者の能力低下が進まない様に、対策が必要とされます

## 問6：今後の業務効率化の取組に付いての意見

23. 取組継続していきますが、ICTを利用した業務効率化には、限界があると感じます
24. 時間外労働時間削減を見据えた業務効率化への取組みとして、今後は、施工図作成など現場で行っている作業をどれだけ内製化（バックオフィス化）できるかが重要と考え取組んでいます
25. 時間外労働時間上限規制について、各社の取り組みだけでなくGC含む業界全体が同じベクトルを進めばもう少し改善につながると感じております



ご清聴ありがとうございました